

国内希少種ハネナガチョウトンボの保全を目的とした取り組み (生息環境整備・密猟防止・普及啓発)

NPO法人奄美野鳥の会

NPO法人奄美野鳥の会は、奄美の島々において人と野鳥及び自然との共生を図ることを目的として、普及啓発活動、希少種の保全復元活動、調査研究活動などを行っています。

【活動背景】

ハネナガチョウトンボは、植生遷移や外来種の蔓延による生息地の劣化・消失、採集圧の増加等によって生息数が減少しており、最も個体数が多かった時期と比べて1日に見られる個体数は10分の一程度になっています。そのため、個体数を回復するために早急な対応が求められています。

【活動目的】

生息環境の改善や密猟対策によって、健全な個体数が継続して生息できるようにすることが目的です。そのため、環境整備作業並びに違法採取対策を関係行政と連携して、将来にわたって持続可能な保全体制の確立を目指します。

【助成金の用途・活動結果】

当財団からの助成金は、ハネナガチョウトンボの生息環境整備のための草刈り作業費や、鋸ガマ・胴長等の備品購入に活用していただきました。

環境整備の結果、開放水面が前年の2倍になり、ハネナガチョウトンボの繁殖に適した環境を増やすことができました。

密猟監視では来園者が少なく作業に余力があることが判明したため、次年度以降は池の整備やトンボ類のモニタリングと組み合わせる案が出ました。



写真提供：環境省奄美群島国立公園管理事務所



ハネナガチョウトンボ

【団体からのメッセージ】

- ・ハネナガチョウトンボはデリケートな環境を好むため、単に生息地を保護するだけでなく、適度に草刈りを行うなど、人の手によって好適な状態を維持する必要があります。このたびは物品購入費だけでなく、作業費を助成していただけてとても助かりました。
- ・助成のおかげで、関係行政（環境省・地方自治体）と連携しながらスムーズに保全対策を進めることができました。感謝申し上げます。